資料 1

# へき地医療拠点病院の指定

- 1 現状及び背景
- 2 新規指定【協議事項】
- 3 代診医派遣のイメージ図(参考1)
- 4 代診医派遣スケジュール(案) (参考2)
- 5 へき地における医療の体系図(参考3)

令和7年3月24日(月) 沖縄県保健医療介護部医療政策課

# 1 現状及び背景

### (1) へき地医療拠点病院の指定状況

へき地医療拠点病院は、令和6年4月に2病院を指定し、現在9箇所となっている。

- ① 沖縄県立北部病院、中部病院、宮古病院、八重山病院(平成14年7月9日指定)
- ② 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター(平成18年4月1日指定)
- ③ 社会医療法人仁愛会浦添総合病院(平成19年4月6日指定)
- ④ 琉球大学病院(平成23年3月24日指定)
- ⑤ 社会医療法人友愛会友愛医療センター、社会医療法人敬愛会中頭病院 (令和6年4月1日指定)

## (2) へき地医療拠点病院の指定拡充

離島診療所で勤務する多くの医師は1人での診療体制となっており、地域住民の健康を守っていくことは、大きな負担となっている。

このため、離島診療所で勤務する医師が心身の健康を保持し持続的に医療サービスを 提供するためには、医師複数体制を検討するほか、代診医派遣のさらなる充実、オンラ イン診療を含む遠隔医療の活用等により医師の負担軽減を図ることとしている。

この中で、代診医派遣の充実を図るためには、へき地医療拠点病院を増加させる必要があることから、離島・へき地医療活動を実施できる見込みがあると認められる病院へ協力を求めていく。

# 2 新規指定【協議事項】

令和6年度は、次表No1から5までの医療機関から指定申請が提出されており、いずれも年12回程度の代診医派遣を行うこととして計画されている。また、指定を必要とする理由についても、第8次沖縄県医療計画におけるへき地医療支援の課題に係る施策の推進に資するものと思料されることから、へき地医療拠点病院として指定することとして適当である。

		へき地保健医療対策協議会 構成員意見							Al.		
No	医療機関名									派遣計画	指定を必要とする理由
1	(公社)北部地区医師会 北部地区医師会病院	可	可	可	可	可	可	可	可	年12回程度	へき地地域の住民が安心・安全に生活ができるよう、また診療所医師の 負担軽減に少しでも繋がることができるよう、連携を深めることでへき地 地域も含めた沖縄県北部地域医療の安定供給に寄与したい。
2	医療法人徳洲会 中部徳洲会病院	可	可	可	可	可	可	可	可	年12回以上	・徳洲会グループ内での離島・へき地への診療応援はこれまで行なっていたが、更に離島・へき地の住民が安心・安全に生活ができるよう、医師派遣を行うことによりへき地医療の支援体制を強化するため。 ・地域の安定的な医療提供体制確保に寄与する役割を果たすため。
3	医療法人徳洲会 南部徳洲会病院	可	可	可	可	可	可	可	可	年12回以上	・徳洲会グループではこれまでも、「生命だけは平等だ」の理念の下、グループ病院である(石垣島徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、伊良部島診療所(2024年3月末閉院)にも医師派遣をしてきた。今後もさらに離島・へき地の住民が安心・安全に生活ができるようへき地医療の支援体制を強化していきたい。
4	地方独立行政法人 那覇市立病院	可	可	可	可	可	可	可	可	年12回以上	へき地地域の住民が安心・安全に生活ができるよう、医師派遣を行うことによりへき地医療の支援体制を強化するため。
5	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	可	可	可	可	可	可	可	可	年12回	・へき地地域の住民が安心・安全に生活ができるよう、医師派遣を行うことによりへき地医療の支援体制を強化するため。 ・地域の安定的な医療提供体制確保に寄与する役割を果たすため。

〔指定要件:沖縄県へき地医療拠点病院指定要領〕

5 (2) 知事は指定の申請があった場合、・・・申請者が離島・へき地医療活動を実施する見込みがあると認める場合は、指定の決定を行い、・・申請者へ通知する。

# 3 代診医派遣のイメージ図(参考1)

へき地医療拠点病院の新規指定に伴い、令和7年度の代診医派遣は、各診療所、へき地医療拠点病院の代診希望日、代診可能日の双方を可視化し年間計画表として整理し、民間病院が代診医派遣を行う。(第1階層)

次に、2階層部分として、へき地医療拠点病院(県立病院)、ドクタープールを活用した 代診医派遣を行う。

第3階層は、沖縄県へき地医療支援機構の調整の元、ドクターバンクを含む全ての関係機関(親病院、へき地医療拠点病院及びドクタープール)を活用した代診医派遣を行う。

臨時的な休暇等 の対応 第3階層 へき地医療支援機構の調整の元、ドクターバンク を含む全ての関係機関を活用した代診医派遣

研修・学会参加等 1週間程度の長期 休暇の対応 第2階層 へき地医療支援機構の調整の元、へき地医療拠点 病院(親病院及びドクタープールを活用した代診 医派遣)

診療所医師への 代診医派遣可能日 可視化

第1階層 へき地医療支援機構の調整の元、へき地医療拠点 病院(主に県立以外の医療機関)による代診医派遣

# 4 代診医派遣スケジュール(案)(参考2)

令和6年度は、診療所医師の勤務環境改善に向けて、離島診療所等関係機関、関係者への調査ヒアリングを推進し、ヒアリングを踏まえて県内医療機関へへき地医療拠点病院の指定に向けて説明等を実施。

令和7年度は、可視化に取り組んでいる代診派遣計画に基づき、早期に新たに指定されるへき地医療拠点病院も代診医派遣等に着手できるよう取組を推進。

令和5年度

令和6年度

令和7年度

### ステップ2

- ・診療所医師の勤務環境改善に向けたヒアリング
- ・へき地医療拠点病院の指定 増加に向けた取組

# ステップ3

- 派遣可能日程の可視化による関係機関の理解促進、施策等の推進
- 支援計画及び評価方法等の 検討

ステップ1

• 計画着想段階

1\_計画の位置付けや 策定の目的を整理

沖縄県へき地 保健医療対策協議会



確認、決定

計画策定

沖縄県地域医療 対策協議会 2 へき地診療所等の関係者 へ調査・ヒアリング

3 県内医療機関へ申請に係る呼びかけ

調査 ヒアリング

11

4 ①医師派遣、②代診医派遣、③巡回診療等の計画調整、医師派遣の推進 5 派遣実績等の評価

確認、決定



実績確認、

へき地医療拠点病院

へき地診療所

沖縄県へき地保健医療対策協議会

沖縄県地域医療対策協議会

第8次計画へき地医療分野

4

# へき地における医療の体系図 (参考3)

へき地医療支援機構を中心に、行政、へき地で勤務する医師、へき地医療に協力する施設・機関、そしてへき地の住民が それぞれ連携・協力し、かつ他の都道府県の先進事例にも学びながら、効果的・効率的で持続可能性のあるへき地への 医療提供体制の構築を行う。

> 国・他県との 意見交換・調整

> > 支

援

連

#### 国(厚生労働省)

医療計画の指針等の策定

調査・分析

国庫補助の実施(約80億円) 拠点病院等の運営補助 医療施設等の施設整備 医療施設等の設備整備 等

他の施策との連携・調整

へき地医療支援機構等 連絡会議の開催

### 支援



連携

#### 都道府県

医療計画の策定 国庫補助事業の実施 調査・分析

#### へき地保健指導所

保健指導等の実施

#### へき地医療支援機構

- 行政機関等によるへき地医療の支援

総合調整、企画立案

へき地勤務医のキャリア形成支援

車任担当官

統合も視野に緊密な連携

診療報酬 (DPC)

上の加算 (H22~)

へき地医療に関する

経験をもつ医師

高校生や医学生向けの啓発等 代診医等の派遣調整

### 支援



### 連携

へき地医療拠点病院 (345施設 (R4.4.1現在)) 等

- へき地の診療を支援

総合的な診療能力を有する 代診医等派遣 入院患者の受入

医師の育成

遠隔医療による診療支援

研修事業

巡回診療の実施

#### 支援



#### 連携

へき地診療所 (1,117施設 (R4.4.1現在)) 等

へき地における診療

へき地住民に対する基礎的な医療の提供

#### 地域医療支援センター

都道府県内の医師確保状況の調査分析 医療機関や医師に対する相談援助 医師派遣事務

キャリア形成プログラムの策定 派遣医師のキャリア支援・負担軽減 等

代診医派遣、キャリア | 形成支援を調整・実施



へき地勤務医等

へき地勤務医の 支援等について協議



関係市町村

市町村等と協力して 啓発活動を実施



地域住民





無医地区等での巡回診療